

【平成 25 年 5 月から平成 29 年 9 月までに小児外科にて急性虫垂炎で手術を受けたお子さん、およびご家族のみなさんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

複雑性虫垂炎*¹の術前予測*²における Pediatric Appendicitis Score*³の有用性の検討

*1：複雑性虫垂炎（ふくざつせいちゅうすいえん）とは、壊疽性虫垂炎（虫垂の組織が炎症でボロボロになっている状態）と穿孔性虫垂炎（炎症の影響で虫垂に穴が空いてしまっている状態）を合わせた呼称です。虫垂炎の中でも重症に分類されます。

*2：術前予測（じゅつぜんよそく）とは、通常どの程度炎症が進んでいるかの判断は実際手術を行ない、虫垂を顕微鏡の検査にださなければわかりませんが、手術前に検査結果から炎症がどの程度であるか予測することです。

*3：Pediatric Appendicitis Score とは、症状と簡便な検査結果から点数をつけ一定の点数以上であれば虫垂炎が疑われる、というものです。2002 年に最初に発表された後、様々な検証に用いられています。

【研究背景・目的】

小児において急性虫垂炎は急性腹症の中で最も頻度の高い疾患ですが、自覚症状の表出が困難であり診断が難しいことがあります。しかし小児の急性虫垂炎は成人と比べて進行が速く、容易に穿孔し（穴があき）、膿瘍（菌の溜まり）や腹膜炎を発症するため、早期診断と適切な治療選択が必要です。

そこでこの研究では、小児急性虫垂炎の進行度を簡便に予測し適切な検査の計画、治療や診断が行えるように、Pediatric Appendicitis Score（以下 PAS）と重症度の関連性について検討します。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 29 年 12 月 1 日から平成 30 年 11 月 30 日
- ・対象：平成 25 年 5 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日までに小児外科へ入院し、虫垂切除を受けた患者さん

・取得情報：

年齢、性別、病悩期間、BMI、受診時の咳嗽時痛・叩打痛・ジャンプ時の右下腹痛の有無、食欲低下の有無、受診時体温、嘔気嘔吐の有無、腹痛の部位、圧痛の有無、受診時の白血球数・CRP 値、白血球分画、痛みの部位の移動の有無、画像所見（エコーまたはCT 検査における虫垂腫大の有無）、術中所見（腹水の有無、腹膜炎の有無）、病理所見（炎症の程度（カタル性、蜂窩織炎性、壊疽性）、穿孔の有無）

【個人情報取扱】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 小児外科 中村晶俊

研究分担者：飯塚病院 小児外科 河野 淳

【問い合わせ先】

飯塚病院 小児外科 河野 淳

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）